

令和3年度 青少年国際交流を通して国際社会や地域社会への貢献を考える集い

【詳細】

LEAVE NO-ONE BEHIND 誰一人も残さない

～佐賀のグローバルアクション～

世の中が急速に変化している昨今、世界各地ではポスト・コロナへの対応など、全ての人に自分たちができる選択やアクションが問われています。人口約 80 万人の佐賀県では、併せて、多文化共生やダイバーシティ、伝統文化と後継者問題など、潜在的な地方特有の課題が存在します。立ち足るものは多く感じますが、現在も各専門分野で多くの方々が前を向いて活動されています。今回の九州ブロック佐賀大会では、佐賀県でグローバルに活動されている方々の事例を通して、ひとりひとりが、それぞれの立ち位置でできることを考えていく一つのきっかけとなればと思い、開催します。「だれ一人取り残さない」地域へ繋がり、国内外のコミュニティへ対しても、ひとつの「希望」となるきっかけ作りになることを願っています。

【講師紹介】

～基調講演～

テーマ：「正解のない時代の幼児教育とは」～おへそ保育園グループの取り組み～

概要： 他人や文化の「違いを認める」「違いを楽しむ」ことを目的として開園当初から取り組んできた おへそ保育園グループの「国際理解教育」の取り組みが、2015年に独立行政法人 JICA グローバル教育コンクールにて最優秀賞である理事長賞を受賞。また、子どもたち同士で正解のない問いに意見し合う「哲学対話」を日本で初めて、保育に取り入れて実践する等、先進的な取り組みを実践。保育園としては珍しく、0歳～小学6年生、そしてハンディキャップを持った子どもたちまでが共存し、子どもたちが自然と多様性を認め合うコミュニティを実現し、保育者と子どもたちとの関係だけでなく、地域社会とも連携しながら、正解のない時代を生きる子どもたちの新しい教育の在り方を模索し続けている。



◇吉村 直記氏

社会福祉法人みずものがたり 理事。

日本体育大学在学中に幼児教育に興味を持ち、関東の保育コンサルティング会社に入社。2010年保育園設立を検討していた(株)ミズの社長(現会長)に出会い、園長として誘いを受ける。教育への思いに共感し、佐賀に戻りおへそ保育園を立ち上げ、25歳でおへそ保育園園長に就任。2015年JICAグローバル教育コンクールにて最高賞である理事長賞を受賞。2017年4月保育園事業の運営を社会福祉法人に移行し、幼保連携型認定こども園、小規模認可園、放課後学童クラブの運営を開始する。自ら考え、学び、行動し、情熱を持って社会に貢献できる人づくりを日々研究中。

～分科会講師～

【分科会 A】

テーマ：「映画で今よりちょっといい地域づくり」

概要：佐賀の街なかになる映画館シアター・シエマでの活動を通して、映画を見る/見せるだけではない、地域の中での映画館の大切な役割についてお話しさせていただきます。



◇重松 絵里子氏

1983年生まれ。2007年12月「シアターシエマ」の支配人に就任。大手シネコンでは扱わない単館系作品を上映するほか、様々なイベントを企画運営している。また、2018年に発起人のひとりとして、「みんなでいろんな映画を見たいからバリアフリー映画をつくる会(みないろ会)」を立ち上げ、地域の中で、映画や映画館ができることの可能性を探っている。

【分科会 B】

テーマ：私とお茶 ～ changes within tradition

概要：日本とのつながり、結婚出産。スロヴェニア人として日本での地域生活、三代目の責任、現代社会の変化の中の伝統文化を守りながら、SGDs 関連の取り組みや工夫についてお話しいたします。



◇徳永 ヴェラ氏

1979年スロベニア共和国出身。大学で英語・日本語を専攻。2002年に1年間、大阪外国語大学に留学し帰国後、卒業論文「日本語と英語にみられるオノマトペの比較」を執筆。2005～2007年まではスロベニアの小学校にて英語教員として勤務。結婚を機に2008年に佐賀県嬉野市に移住。現在3代目となる歴史あるお茶屋さんに嫁ぐ。

※過去テレビ出演一覧

2018年 「私が日本に住む理由」 2019年 「メイドインジャパン」など

【分科会 C】

テーマ：まちの未来にあかりを灯す～持続可能なまちを目指して～

概要：有田焼を産業とする有田町で、焼きもの以外のアプローチでまちづくりに取り込んでいく灯す屋。持続可能なまちや地域を作っていくために、どのような取り組みを行っているかをお話します。

◇上野 菜穂子氏

NPO法人灯す屋 事務局長。北海道札幌市出身。イランの国営放送局に15年間勤務、ラジオの番組制作などに携わる。2017年、帰国と同時に地域おこし協力隊として有田町に移住。空き家や移住の相談を受

ける他、食や文化など暮らしを豊かにする企画に携わる。2020年4月退任し、同月NPO法人灯す屋事



務局長に就任。ちやわん最中プロジェクト担当。

【分科会 D】

テーマ：グローバル思考、当地化行動！

概要：青年海外協力隊（グローバル）の経験、被災地での仕事を通して地元（ローカル）を意識するようになり、それが今の職業選択やプライベートでのCSO活動につながっているということについて、ご自身の経験をもとに話していただきます。SDGsやグローバルな活動は、ハードルが高いものではなく、誰もがいかしらコミットができることがある、ということに参加者とのやり取りを交えながらお伝えできたらと思います。

◇鶴田 さゆり氏

佐賀県上峰町出身。地元幼稚園に5年勤務ののち、2009年より青年海外協力隊へ。中国重慶市に派遣され、幼児教育隊員として活動。帰国後、東日本大震災で被災した岩手県山田町に国内協力隊として赴任、保育分野の復興支援活動に従事。2014年佐賀県庁に入庁。母子保健福祉課（ひとり親家庭支援事業担当）、国際課（中国との国際交流事業）での業務を経験し、現在は空港課（国際路線誘致・空港広報担当）に配属。2017年認定NPO法人地球市民の会理事に、2018年には佐賀県海外協力協会（JICA海外協力隊



OB会）会長に就任。

【当日スケジュール】

- 13:00-13:30 受付
- 13:30-13:40 開会挨拶
- 13:50-14:50 基調講演 講師:吉村直記(講演45分・質疑応答10分)
- 15:00-16:00 分科会 A・B (講演45分・質疑応答10分)
- 16:10-17:10 分科会 C・D (講演45分・質疑応答10分)
- 17:10-17:20 休憩
- 17:20-17:40 バイリンガル絵本読み聞かせ
- 17:40 閉会式
- 17:45-18:45 懇親会

【参加費】

- ・基調講、分科会参加：1,500円 高校生以下 無料
- ・基調講演のみ参加：1,000円
- ・分科会のみ参加：500円

※事業参加後3年以内の参加青年の参加費は事後活動研修費が適用されるため無料。

【申込締切日】

令和3年10月23日(土)

【主催者】

- ・内閣府
- ・日本青年国際交流機構
- ・(一財)青少年国際交流推進センター
- ・佐賀県青年国際交流機構

【主管】IYEO九州ブロック大会(佐賀大会)実行委員会

【後援】佐賀県(予定)

【問合せ先】

佐賀県青年国際交流機構

メール：sagaiyeo@gmail.com

TEL：佐賀県IYEO会長 松本夏実

実行委員長 園部ニコル